

全鉄連流通動態調査結果表平成24年7月分

(24.8.21)

全国鉄鋼販売業連合会

品 種	地 区	前 月 在 庫 量		仕 入 れ 量		販 売 量		月 末 在 庫 量		
		6月実績	前月比%	7月実績	前月比%	7月実績	前月比%	7月実績	前月比%	
異 形 棒 鋼	東 京	11,429	98.0	62,169	95.6	62,684	96.0	10,914	95.5	
	大 阪	6,254	92.8	24,526	114.4	24,952	113.8	5,828	93.2	
	愛 知	6,821	96.9	4,796	159.9	4,131	128.5	7,486	109.7	
	計	24,504	96.3	91,491	103.4	91,767	101.5	24,228	98.9	
形 鋼	山 形 鋼	東 京	23,057	96.4	9,418	109.0	10,096	106.4	22,379	97.1
		大 阪	17,065	95.1	8,746	114.1	9,692	113.4	16,119	94.5
		愛 知	11,876	90.7	6,217	132.4	6,811	115.2	11,282	95.0
		計	51,998	94.6	24,381	116.1	26,599	111.1	49,780	95.7
	溝 形 鋼	東 京	18,035	99.8	6,341	96.9	7,412	112.6	16,964	94.1
		大 阪	11,991	96.6	5,184	86.0	6,304	97.8	10,871	90.7
		愛 知	6,216	79.3	5,440	261.7	4,741	128.2	6,915	111.2
		計	36,242	94.6	16,965	115.8	18,457	110.3	34,750	95.9
	H 形 鋼	東 京	30,770	98.0	13,792	105.6	15,682	114.6	28,880	93.9
		大 阪	37,371	104.7	24,358	78.7	28,737	98.1	32,992	88.3
		愛 知	23,400	103.7	14,999	107.0	16,303	123.8	22,096	94.4
		計	91,541	102.1	53,149	91.6	60,722	108.2	83,968	91.7
合 計		179,781	98.3	94,495	100.9	105,778	109.3	168,498	93.7	
コ ラ ム	東 京	8,030	97.3	2,812	113.6	2,895	107.3	7,947	99.0	
	大 阪	10,063	88.1	1,736	98.4	3,265	104.4	8,534	84.8	
	愛 知	2,498	96.3	2,859	121.0	2,755	112.1	2,602	104.2	
	計	20,591	92.5	7,407	112.2	8,915	107.7	19,083	92.7	
軽 量 C 形 鋼	東 京	3,465	96.1	2,624	103.8	2,644	99.0	3,445	99.4	
	大 阪	3,095	99.7	1,647	92.0	1,917	106.5	2,825	91.3	
	愛 知	1,974	90.9	1,242	140.8	1,268	117.4	1,948	98.7	
	計	8,534	96.1	5,513	106.0	5,829	105.0	8,218	96.3	
総 計		233,410	97.4	198,906	102.0	212,289	105.6	220,027	94.3	

(注) ①単位トン ②調査対象企業 東京 35、大阪 22、愛知 15、合計 72社

※この資料は経済産業省、鉄流懇関係者、報道機関のみ配布しています。

〔調査内容変更について〕

昭和48年4月より開始された本調査は、平成12年4月実績発表まで27年間同一フォーム内容で実施され、鋼材二次流通の実態を表す資料とされていた。しかし、この間に調査品目の中には流通性がなくなった品種、また、未調査品目ながら市場性が高い品種など鋼材市場においてさまざまな品種の盛衰があった。そこで全鉄連常任理事会において、本調査の見直しを提議された。そして、平成12年5月分実績より従来の流通動態調査を改訂し上記のとおり発表することとなった。

その変更内容は①調査対象品種に、コラムを追加②調査対象品種よりブレン、不等辺山形鋼、I形鋼、デッキ・キーストンを除外する③契約残調査を取り止める、以上3点である。また、本調査を「特約店流通動態調査」と称していたが、これを「全鉄連流通動態調査」と呼称変更した。これは調査機関である当会が全国鉄鋼販売業連合会に名称変更したことによる。また、13年5月実績をもって調査対象品種変更後1年が経過した。この間、暫定的な数値をもって時系列表及びグラフを作成していたが、それを改め月表の数値と一致するように改訂した。